

「龍谷の森」での卒業研究

宮浦 富保

龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科は2003年に開設された学科であり、2006年度から卒業研究が開始された。環境ソリューション工学科は生態学分野と都市環境工学分野とからなり、「龍谷の森」での卒業研究は主に生態学分野の研究室に所属する学生によって行われている。「龍谷の森」を利用した卒業研究は、環境ソリューション工学科以外の学生も行っている可能性があるが、本報告では実施状況が把握されている環境ソリューション工学科の卒業研究のみをとりまとめた。

2006年度には、表-1に示す10件の卒業研究が、「龍谷の森」で行われた。このうち「コナラ二次林の林床照度の平面分布と季節変化」、「渦相関法によるコナラ二次林の二酸化炭素フラックス」、「瀬田丘陵の植物フェノロジーについて」の3件については、2006年度の里山ORCの年報に概要が報告されている（倉地ほか2007、宮浦ほか2007、塚本ほか2007）。

2007年度には、表-2に示す20件の卒業研究が、「龍谷の森」およびその周辺で行われた。このうち「龍谷の森におけるヒノキ人工林の炭素固定能力」、「ヤマトシジミ成虫による草地環境の利用」、「龍谷の森」における開花フェノロジーと昆虫の訪花戦略」、「大津市堂における「里地里山」利用」の4件については、本誌（2007年度の里山ORC年報）に概要が報告されている（河本ほか2008、樋口ほか2008、山田ほか2008、吉田ほか2008）。また、「龍谷の森における植物相～最近10年程の変化を中心に～」と2006年度の「龍谷の森の植物相について」の内容をとりまとめた報告が本誌に掲載されている（横田ほか2008）。

「龍谷の森におけるコナラ二次林のバイオマス」、「龍谷の森におけるコナラ二次林の林分構造」、「龍谷の森におけるコナラ二次林の成長履歴」、「コナラ萌芽の成長履歴」の

4件は、「龍谷の森」で2007年度に実施した伐採試験の試料を用いたものである。伐採試験の概略についての報告は本誌に掲載されている（林ほか2008）。なお「新規ブタノール生成細菌株の分離と木質バイオマスからのブタノール生成」というタイトルの卒業研究は、都市環境工学分野の学生が木質バイオマスの利用可能性について検討したものである。

引用文献

- 林珠乃・横田岳人・宮浦富保 「コナラ二次林の皆伐実験」『龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター2007年度年次報告書「里山から見える世界」』pp.235-243, 2007年3月
- 樋口久子・遊磨正秀 「ヤマトシジミ成虫による草地環境の利用」『龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター2007年度年次報告書「里山から見える世界」』pp.351-366, 2007年3月
- 河本駿佑・宮浦富保・倉地奈保子・宮浦真澄 「「龍谷の森」におけるヒノキ人工林の炭素固定能力」『龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター2007年度年次報告書「里山から見える世界」』pp.320-334, 2007年3月
- 倉地奈保子・葉師寺芳好・宮浦富保 「コナラ二次林林床の光環境の季節変化」『龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター2006年度年次報告書「里山から見える世界 自然と文化の多様性」』pp.385-399, 2007年3月
- 宮浦富保・山田亮・横田岳人 「渦相関法によるコナラ二次林の二酸化炭素フラックスの測定」『龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター2006年度年次報告書「里山から見える世界 自然と文化の多様性」』pp.376-384, 2007年3月
- 塚本梓・横田岳人・宮浦富保 「龍谷大学瀬田学舎隣接地「龍谷の森」と周辺地域の植物フェノロジー」『龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター2006年度年次報告書「里山から見える世界 自然と文化の多様性」』pp.400-413, 2007年3月
- 山田 純平・遊磨正秀 「「龍谷の森」における開花フェノロジーと昆虫の訪花戦略」『龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター2007年度年次報告書「里山から見える世界」』pp.367-403, 2007年3月
- 横田岳人・當麻友寛・宮松久美子・宮浦富保 「「龍谷の森」において2006年から2007年に採集した植物標本」『龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター2007年度年次報告書「里山から見える世界」』pp.210-217, 2007年3月
- 吉田麻美子・横田岳人・宮浦富保 「大津市堂における「里地里山」利用」『龍谷大学里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター2007年度年次報告書「里山から見える世界」』pp.335-350, 2007年3月

表-1. 2006年度に「龍谷の森」で行われた卒業研究

研究室	氏名	論文タイトル
宮浦	井上貴裕	ヌルデとヌルデシロアブラムシのゴール形成における適応的意義
宮浦	高橋良	龍谷の森におけるアカマツの成長と枯死の過程
宮浦	薬師寺芳好	コナラ二次林の林床照度の平面分布と季節変化
宮浦	山田亮	渦相関法によるコナラ二次林の二酸化炭素フラックス
Lei	速水健吾	樹木の落葉に伴う養分回収の解析
Lei	渡辺卓也	炭素収支及び環境要因が葉の老化に及ぼす影響
横田	新谷嘉啓	森林内の光環境の変化に伴う林床植生の季節変化
横田	塚本梓	瀬田丘陵の植物フェノロジーについて
横田	宮松久美子	龍谷の森の植物相について
横田	渡邊圭一郎	植物芽生えの写真図鑑作成の試み

表-2. 2007年度に「龍谷の森」で行われた卒業研究

研究室	氏名	論文タイトル
宮浦	武田光央	龍谷の森におけるフトミミズの分布調査
宮浦	河本駿佑	龍谷の森におけるヒノキ人工林の炭素固定能力
宮浦	岩崎宏樹	琵琶湖湖南地域の里山における竹林分布の変化
宮浦	小武将義	樹幹着生蘚苔類の分布と環境要因との関係
宮浦	鳴瀬功太郎	龍谷の森におけるコナラ二次林のバイオマス
宮浦	立山創	龍谷の森におけるコナラ二次林の林分構造
宮浦	中山武	龍谷の森におけるコナラ二次林の成長履歴
宮浦	南昌宏	龍谷の森におけるコナラ二次林の二酸化炭素収支
遊磨	樋口 久子	ヤマトシジミ成虫による草地環境の利用
遊磨	村田 守穂	鳥類の逃避距離に対する人の影響
遊磨	山田 純平	「龍谷の森」における開花フェノロジーと昆虫の訪花戦略
遊磨	川島 宇二郎	アカハライモリを用いた水路環境評価
Lei	秋山嘉之	光環境の変化による林床植物の応答
横田	斉田吉記	森林の存在が周辺の温度環境に与える影響
横田	當麻友寛	龍谷の森における植物相～最近10年程の変化を中心に～
横田	榊田杏子	龍谷の森におけるホンドテンの食性
横田	吉田麻美子	大津市堂における「里地里山」利用
横田	西沢聖	コナラ萌芽の成長履歴
横田	多田稔	利用者の踏み込みが植生に与える影響について
石垣	嶋山悠	新規ブタノール生成細菌株の分離と木質バイオマスからのブタノール生成